

## ご修理のときは

お買い求めの販売店、またはホームセンターにお申し付けください。  
なお、修理を依頼する販売店やホームセンターがお近くにない場合は、  
弊社 WEB サイトから修理受付けを行っていますのでアクセスしてください。



<https://www.hikoki-powertools.jp/contact/repair/>

### お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておくと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

### お客様相談センター

●フリーダイヤル (9:00 ~ 18:00)

**0120-20-8822** ※携帯電話、IP電話からもご利用いただけます。

## 工機ホールディングス株式会社

〒108-6018 東京都港区港南 2 丁目 15 番 1 号 (品川インターシティ A 棟 18 階)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>

部品コード C99750701 311 〇

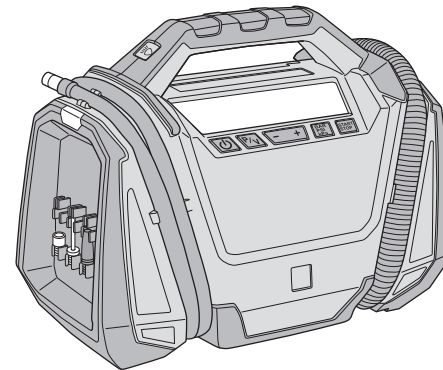
# HIKOKI

## 取扱説明書

### コードレス空気入れ

#### 18 V UP 18DA

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、  
ありがとうございました。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、  
正しく安全にお使いください。  
お読みになった後は、いつでも見られる所に  
大切に保管してご利用ください。



本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

### はじめに

コードレス工具の安全上のご注意	1
本製品の使用上のご注意	5
リチウムイオン電池の使用上のご注意	8
各部の名称	10
用途	11
高圧モード、高容量モードについて	11
仕様	11
標準付属品	12
別売部品	12

### 使い方

車載電源で使用する場合	13
蓄電池で使用する場合	14
電池残量表示について	15
スイッチパネルについて	16
LED ライトの使い方	16
高圧モードで空気を入れる	17
アダプタの使い方	19
高容量モードで空気を入れる・抜く	23

### その他

ホースと標準付属品の収納	25
保守・点検	26
ご修理のときは	裏表紙

## ⚠警告、⚠注意、注 の意味について

**⚠警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

**⚠注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

**注** : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、**⚠注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

## コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

### ⚠警告

- ① **専用の充電器や蓄電池を使用してください。**  
弊社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。
- ② **蓄電池の端子間を短絡（ショート）させないでください。**  
釘袋などに入れると、短絡（ショート）して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。
- ③ **蓄電池の内部に、水のような導電性の液体を入れないでください。**  
発熱・発火・破裂などの恐れがあります。
- ④ **作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。**
  - 工具本体や蓄電池は、雨の中や湿った場所で使用・放置・保管をしないでください。感電や発煙の恐れがあります。
  - 作業場は十分に明るくしてください。  
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
  - 可燃物、可燃性あるいは腐食性の液体やガスがある所での使用・充電・保管をしないでください。発火や火災の恐れがあります。
- ⑤ **保護メガネを使用してください。**  
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。  
切削した物や粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。

### ⚠警告

- ⑥ **加工する物をしっかりと固定してください。**  
加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。  
固定が不十分な場合は、加工する物が飛んで、けがの原因になります。
- ⑦ **次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り（OFF）、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。**
  - 使用しない、または、準備・調整・保守・点検する場合。
  - 付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
  - その他、危険が予想される場合。  
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑧ **不意な始動は避けてください。**  
スイッチに指を掛けて運ばないでください。  
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑨ **指定の付属品や別売部品を使用してください。**  
この取扱説明書、および弊社カタログに記載されている指定の付属品や別売部品を使用してください。事故やけがの原因になります。
- ⑩ **蓄電池を火の中に投入しないでください。**  
破裂して、有害物質が出る恐れがあります。

### ⚠注意

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**  
散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
  - 作業員以外、コードレス工具に触れさせないでください。けがの原因になります。
  - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
  - 安全の責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
  - 乾燥した場所で、子供の手が届かない所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
  - 工具本体や蓄電池を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。  
蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

## ⚠️注意

- ④ 無理して使用しないでください。
- 安全に能率良く作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
  - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙、発火の恐れがあります。
- ⑤ 作業に合ったコードレス工具を使用してください。
- 大形のコードレス工具で行う作業には、小形のコードレス工具・別売部品を使用しないでください。けがの原因になります。
  - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。
- ⑥ きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
  - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。滑りやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
  - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑦ 無理な姿勢で作業をしないでください。
- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。転倒して、けがの原因になります。
- ⑧ コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。
- 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。
  - 付属品や先端工具の取付け・取りはずしは、取扱説明書に従ってください。
  - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。
- ⑨ 調整キーやスパナなどは、スイッチを入れる前に取りはずしてください。
- 調整キーやスパナなどの工具類が、取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは作動時に飛び出して、けがの原因になります。
- ⑩ 油断しないで十分注意して作業をしてください。
- コードレス工具を使用する場合は、取扱い方法、作業の仕方、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
  - 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
  - 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。
- ⑪ 十分な防じん対策や飛散防止対策をしてください。
- 特に、人体に有害な成分を加工するときは注意してください。

## ⚠️注意

- ⑫ アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業を含む)で使用しないでください。
- アスベストは、人体に肺がん等の重大な健康被害を発症させる物質です。
- ⑬ 損傷した部品がないか点検してください。
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
  - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
  - 破損した保護カバー、その他の部品交換は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
  - スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。誤作動して、けがの原因になります。
- ⑭ コードレス工具の修理は、専門店に依頼してください。
- サービスマン以外の方は、工具本体や蓄電池の分解・修理・改造をしないでください。発火や誤作動など、けがの原因になります。
  - コードレス工具が高温になるなど、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
  - この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
  - 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
  - アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業を含む)で使用したコードレス工具の保守・点検・修理は受けできません。

### ○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

# 本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレス空気入れについて、次に述べる注意事項を守ってください。

## ⚠警告

- ① 子供だけで使用させないでください。子供が近くにいるときは注意してください。  
安全の責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ② 圧力を設定する際は、対象物の適正圧力、圧力単位を確認し正しく設定してください。
- ③ 空気を入れているときは、本機の圧力表示の値、本機や対象物の状態やエアの漏れがないことを確認してください。  
機体や対象物が破損すると、けがの原因になります。
- ④ 機体の圧力計は目安としてください。空気を入れた後は、正規の計測器などで確認してください。
- ⑤ アダプタ、ノズルを対象物からははずすときは、機体に残った圧力の排気のため、しっかり保持し、ゆっくり取りはずしてください。
- ⑥ 付属の車載用 DC コードを使用してください。  
他のコードを使用すると、異常に発熱して、発煙・発火の恐れがあります。
- ⑦ コードを乱暴に扱わないでください。
  - 機体を移動させたり、引いたり、または接続プラグ、シガーライター接続プラグを抜くためにコードを利用しないでください。
  - コードは、熱、油、角のどがった所、または動く物からはなしておいてください。コードが損傷したり、絡まったりすると、感電のリスクが増大します。
  - コードは事前に点検し、損傷している場合には修理・交換してください。
- ⑧ 次の場合は、スイッチを切り (OFF)、車載用 DC コード、蓄電池を本体から取りはずしてください。
  - 使用しない、または、準備・調整・保守・点検する場合。
  - その他、危険が予想される場合。  
思わぬ事故の原因になります。
- ⑨ 使用前に、ホースやアダプタに損傷がないか確認してください。
- ⑩ 空気を入れるときはホース、アダプタ、ノズルを確実に接続してください。  
確実に接続されていないと、ホース、アダプタ、ノズル、対象物が破損してけがの原因になります。
- ⑪ 使用中は、本製品および対象物からはなれないでください。また、本製品および対象物に異常が出た場合に、すぐに停止できるよう注意深く確認してください。

## ⚠警告

- ⑫ 水平で安定した場所で使用してください。  
ホースに損傷を与えるような鋭利な物や薬品、油などの近くで使用しないでください。
- ⑬ 本機や対象物の最大圧力を超えて、空気を入れしないでください。  
対象物の破裂や機体の破損により、けがの原因になります。
- ⑭ 用途に記載された以外の物に、空気を入れしないでください。
- ⑮ 機体は 50 cm 以上壁などからはなし、吸気口への空気の流れを十分確保して使用してください。
- ⑯ 濡れた手で使用しないでください。
- ⑰ ホースは絡んだまま使用しないでください。
- ⑱ 作動中は、送風口や吸気口に手や顔などを近づけたり、のぞいたりしないでください。
- ⑲ 送風口や吸気口をふさがないでください。また、吸気口にごみをため込まないでください。  
送風口や吸気口をふさぐと、モーターの回転が異常に速くなり、機体内部のファンの破損や、モーターが異常に加熱する原因になります。
- ⑳ 移動時はハンドルを持ってください。ホースを持ったり、ホースを引いたりして機体を動かさないようにしてください。
- ㉑ 水や砂を吸い込みやすい場所では使用しないでください。
- ㉒ ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリンなどの引火物のある場所では使用しないでください。  
発火や火災の恐れがあります。
- ㉓ 使用中、機体が高温になったり、異常音、異常振動がしたりするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
- ㉔ 誤って落としたり、衝撃が加わったりしたときは、機体などに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。
- ㉕ 本製品の吸気機能は空気抜き専用です。  
掃除機のように物を吸い込む用途には使えません。

## ⚠警告

- ②⑦ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
- 使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
  - 作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
  - 使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。
- 短絡（ショート）して、発煙・発火の恐れがあります。
- ②⑧ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に変形が生じた場合は、使用しないでください。
- 短絡（ショート）して、発煙・発火の恐れがあります。

## ⚠注意

- ① 本製品を呼吸用の補助機器として使用しないでください。
- ② 付属の車載用 DC コードは、本製品以外に使用しないでください。
- ③ 作動させたまま、または対象物にホースをつないだ状態で、機体を放置しないでください。
- ④ 乾燥した環境での作業では、静電気が蓄積され、予期せぬ放電が発生する可能性がありますので注意してください。
- ⑤ 人や動物に向けて送風しないでください。
- ⑥ 使用直後の機体や高圧ホースは高温になるので、触れないでください。
- ⑦ 浮き輪やボートなどの空気抜きに使用するときは、内部に残っている水分を吸い込まないでください。  
誤ってモーター内に水分や砂が入り込んでしまうと、故障の原因になります。
- ⑧ 車載用 DC コード（DC 12V）、または蓄電池を確実に取付けてください。

## リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品はリチウムイオン電池を使用します。リチウムイオン電池には、寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能が付いています。

下記①、②、③の場合、本製品を使用中にモーターが停止することがあります。これは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。  
速やかに充電してください。
- ② 過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。  
スイッチを切り、過負荷の原因を取り除いてください。
- ③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。  
蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日かげなどで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに蓄電池の液漏れ、発熱・発煙・発火を未然に防ぐため、次に述べる注意事項を守ってください。

## ⚠警告

- ① 蓄電池の端子部に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
  - 使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
  - 作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
  - 使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。
- ② 誤って落とすなど、蓄電池の端子部に変形が生じた場合は、使用しないでください。また、外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。
- ③ 蓄電池に釘を刺す、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- ④ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。
- ⑤ 蓄電池を電子レンジや高圧容器に入れるなど、過熱・高圧を与えないでください。
- ⑥ 蓄電池が液漏れしたり、異臭を発したりするときは直ちに火気より遠ざけてください。
- ⑦ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。
- ⑧ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭・発熱・変色・変形、その他異常に気が付いたときは、直ちに使用を中止して、お買い求めの販売店に相談してください。

# 各部の名称

## 警告

- ⑨ 蓄電池にアルカリ系の潤滑剤や切削液が付着した場合は、速やかに乾いた布でふき取ってください。  
ケースの破損や劣化の原因になります。

## 注意

- ① 蓄電池が液漏れして液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。  
放置すると液により目に障害を与える原因になります。
- ② 蓄電池が液漏れして液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。  
皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。
- ③ 蓄電池を一般のごみと一緒に捨てないでください。
- ④ 蓄電池は子供の手の届かない所に保管してください。
- ⑤ 蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。

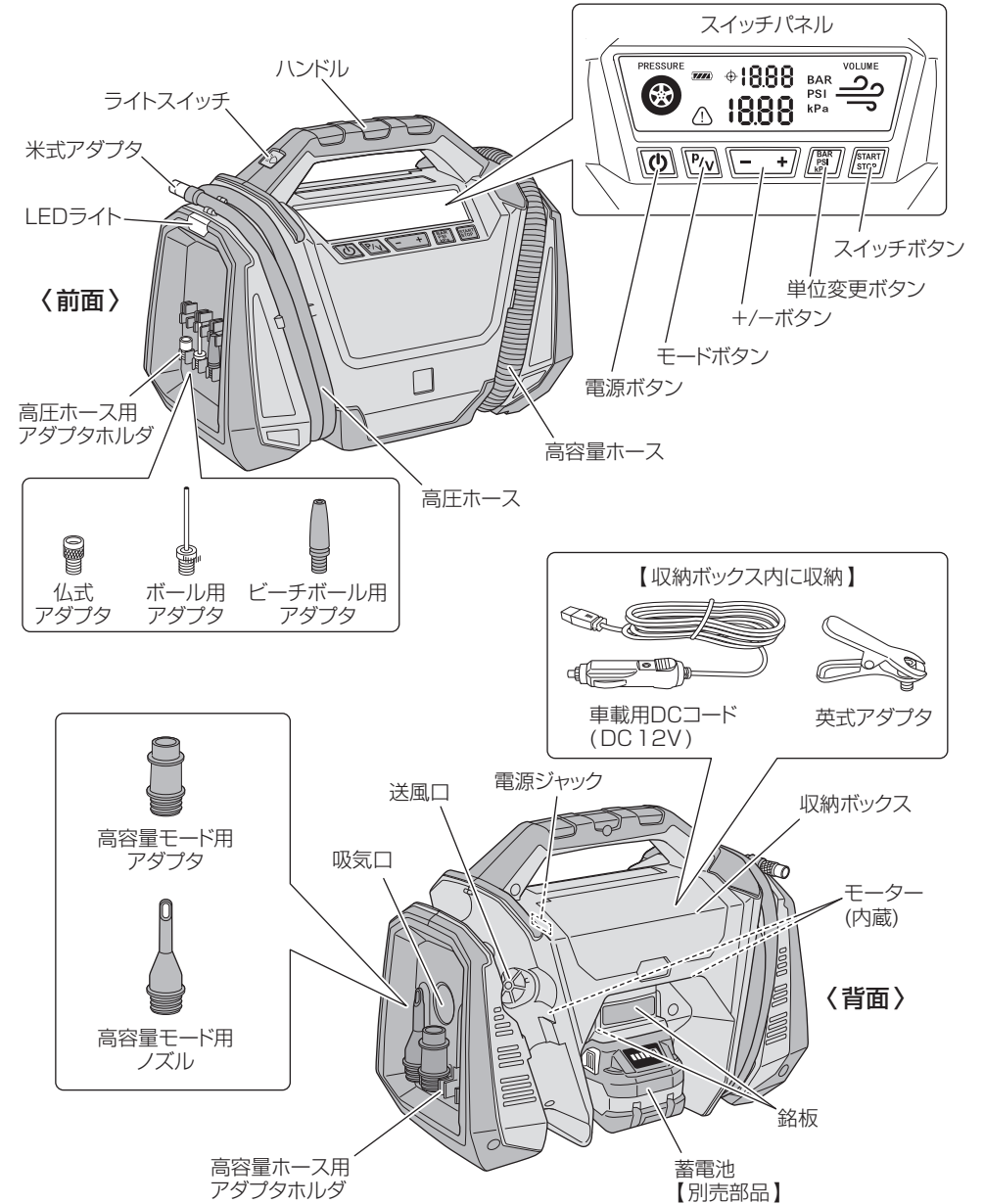
## 蓄電池はリサイクルへ

蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池を廃棄する際は、リサイクルにご協力いただき、お買い求めの販売店にご持参ください。



### ○ 蓄電池は、弊社純正品をご使用ください

弊社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証ができません。



## 用途

- 車、自転車、ロードバイクなどタイヤ全般の空気入れ
- 球技ボールの空気入れ（バレーボール、バスケットボール、サッカーボールなど）
- レジャー用品（浮き輪、ビーチボール、エアベッド）などの空気入れ / 抜き

## 高圧モード、高容量モードについて

**PRESSURE** 高圧モード



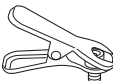

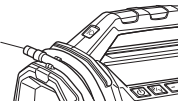
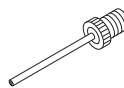
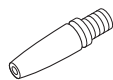
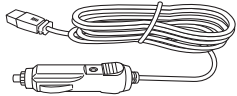
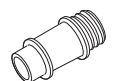
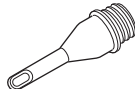
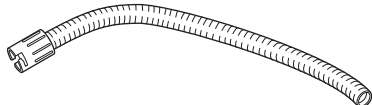
車、自転車などのタイヤ、競技用ボールなど、高圧での空気入れに使用します。

**VOLUME** 高容量モード



浮き輪、エアベッドなど低圧での空気入れに使用します。

## 標準付属品

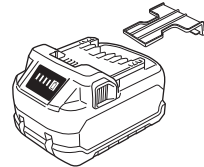
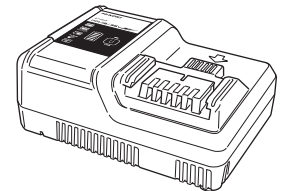
英式アダプタ 	仏式アダプタ 	米式アダプタ (本体装着、取りはずし不可) 米式アダプタ 
ボール用アダプタ 	ビーチボール用アダプタ 	車載用 DC コード (DC 12 V) 
高容量モード用アダプタ (高容量ホース装着) 	高容量モード用ノズル 	高容量ホース 

## 仕様

形 名	UP 18DA	
モ ー タ ー	直流モーター	
入 力 電 源	<ul style="list-style-type: none"> <li>●マルチボルトタイプ蓄電池</li> <li>●リチウムイオン電池</li> <li>●18 V (BSL 18**シリーズ)</li> <li>●14.4 V (BSL 14**シリーズ)</li> </ul>	
	車載電源 (DC 12 V)	
最 高 圧 力 [高圧モード時]	160 PSI / 11 Bar / 1,100 kPa	
吐 出 量 [18 V 蓄電池満充電時]	高圧モード : 14 L / min [200 kPa 時] 高容量モード : 430 L / min	
寸 法 (全長×全高×全幅)	328 × 259 × 185 mm [BSL 36A18X 装着時]	
質 量 [標準付属品を含む]	3.5 kg [BSL 36A18X 装着時]	2.8 kg [蓄電池なし]

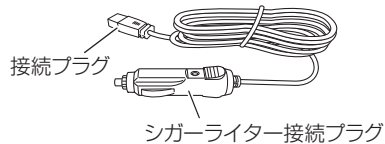
## 別売部品 (別売部品は生産を打ち切ることがありますので、ご了承ください。)

詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

蓄電池 ●マルチボルトタイプ蓄電池 ●18 V (BSL 18**シリーズ) ●14.4 V (BSL 14**シリーズ) 	充電器 〈14.4 V - 18 V 対応〉 UC 18YDL2 など各種 
---	--

## 車載電源で使用する場合

- 注**
- 車載電源を使用する場合は、蓄電池を本体から取りはずしてください。
  - 本製品には、車載電源から蓄電池へ充電する機能はありません。
  - 車載電源でを使用した場合、蓄電池に比べ吐出量が低下します。



車載用 DC コード (DC 12 V)

### 1 電源を確認する

付属の車載用 DC コードは、直流 12 V 車載電源用です。他の直流電源では使用しないでください。

### 2 シガーライター接続プラグとシガーライターソケットを確認する

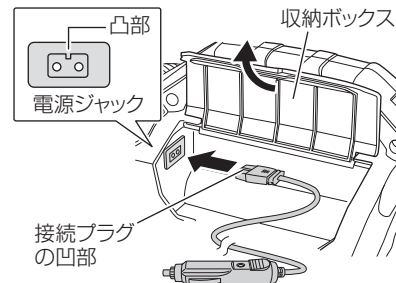
ガタついて、すぐ抜けてしまう場合は修理を依頼してください。また、車側に原因があることも考えられますので、自動車修理店等にご相談ください。そのまま使用すると、過熱して、事故の原因になります。

### ⚠ 注意

- 車の運転中は、本機を使用しないでください。
- 車載用 DC コードを使用するときは、車を止めてサイドブレーキをかけてください。

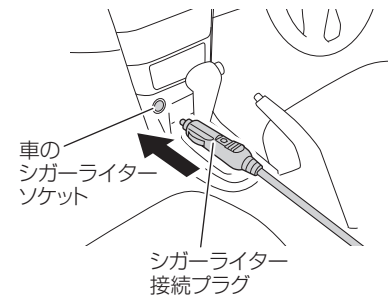
### 3 車載用電源コードを本体に接続する

収納ボックスのふたを開き、車載用 DC コードの接続プラグの凹部と電源ジャックの凸部を合わせて奥までしっかりさし込んでください。

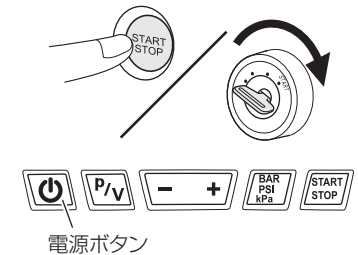


注：コードは収納ボックスから取り出し伸ばして使用してください。

### 4 車載用 DC コードのシガーライター接続プラグを、シガーライターソケットにさし込む



### 5 車のエンジンをかけ、本機の電源ボタンを ON にして使用する



- 注** アクセサリー ON のみの状態 (車のエンジンがかかっていない状態) で、使用を継続しないでください。  
"バッテリー上がり"の原因になります。

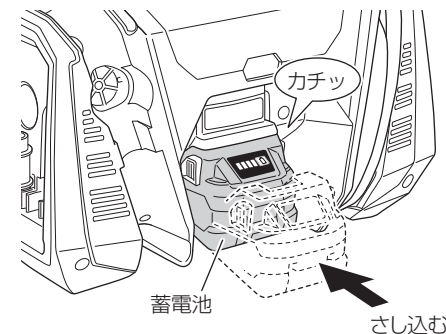
## 蓄電池で使用する場合

### ⚠ 注意

蓄電池を使用する場合は、車載用 DC コードは車載電源につなげないでください。

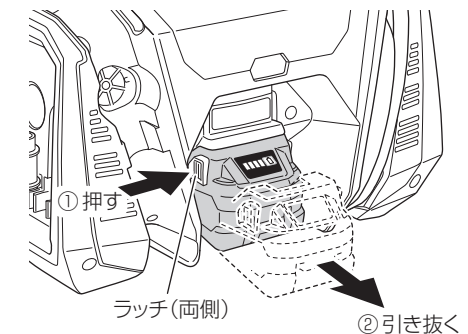
#### 取付けるとき

「カチッ」と音がするまで、確実にさし込んでください。



#### 取りはずすとき

両側のラッチを押しながら、スライドさせて引き抜きます。





# 電池残量表示について

## ● 工具本体の電池残量表示

電池残量表示ランプは、右図のように点灯します。

電池残量表示は、使用環境、蓄電池の状態などにより異なりますので目安としてください。

- 注**
- 残量表示機能のある蓄電池を使用する際は、蓄電池側の残量表示を参照してください。
  - また、電池残量表示機能は 18V 蓄電池専用です。14.4V 蓄電池を使用時は正しく表示されません。
  - 車載電源での使用時にも表示されませんが、異常ではありません。

ランプの点灯状態	電池残量
	75% 以上
	75% 未満
	50% 未満
	25% 未満
	0%

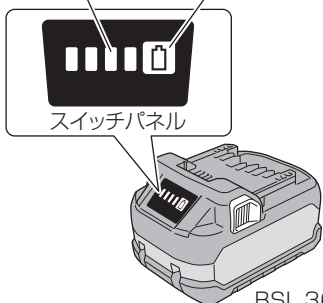
※点滅 5 秒後に消灯

## ● 蓄電池の電池残量表示

電池残量表示スイッチを押すとランプが点灯して、電池残量を確認することができます。

電池残量表示は、使用環境、蓄電池の状態などにより異なりますので目安としてください。

電池残量表示ランプ  
電池残量表示スイッチ



BSL 36A18X

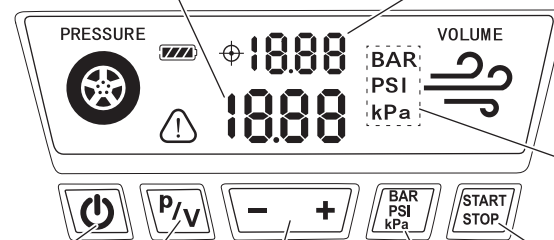
ランプの点灯状態	電池残量
	75% 以上
	50% ~ 75% 未満
	25% ~ 50% 未満
	25% 未満
	0%
	高温のため出力停止*1
	故障のため出力停止*2

- ※1: 蓄電池を工具本体より取りはずし、十分に冷ましてください。
- ※2: 蓄電池の故障と考えられますので、お買い求めの販売店に相談してください。

- 注** 残量表示機能のある製品側、および充電器側の残量表示と異なる場合があります。

# スイッチパネルについて

現在圧【高圧モードのみ】 設定圧【高圧モードのみ】



電源ボタン モードボタン +/- ボタン 単位変更ボタン スイッチボタン

単位【高圧モードのみ】

	<p>〈電源ボタン〉 主電源の ON と OFF を操作</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源ボタンを押すとディスプレイが点灯し待機状態になります。</li> </ul>		<p>〈単位変更ボタン〉【高圧モードのみ】 空気圧の単位を選択</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「BAR」→「PSI」→「kPa」に切り替わります。</li> </ul>
	<p>〈モードボタン〉 高圧モード、高容量モードを選択</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 押すたびに右の表示が切り替わります。</li> </ul>		<p>高圧モード</p>
	<p>〈+/- ボタン〉【高圧モードのみ】 空気圧を設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 希望の空気圧を設定します。</li> </ul>		<p>高容量モード</p>
	<p>〈スイッチボタン〉 運転をスタート/ストップ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 高圧モードでは対象物の空気圧が設定値に達すると、自動で運転を停止します。</li> </ul>		<p>〈警告マーク〉 保護機能が働いたときに点灯</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源を OFF にし、しばらくして再度電源を ON にしても消えない場合は故障です。</li> </ul>

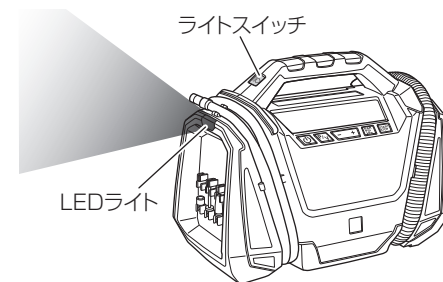
※ 14.4V 蓄電池を使用時は、正しく表示されません。(P.15「工具本体の電池残量表示」参照)

- 注** 操作しない状態が 5 分間続くと、電源が自動的に OFF になります。

## LED ライトの使い方

ライトスイッチを押すと、側面にある LED ライトが光ります。再度ライトスイッチを押すと消灯します。ライトスイッチは電源が OFF の状態でも使用することができます。

- 注** 操作しない状態が 5 分間続くと、LED ライトは自動的に消灯します。

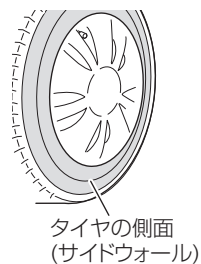


# 高圧モードで空気を入れる

- 車、自転車、ロードバイクなどタイヤ全般の空気入れ
- 球技ボールの空気入れ  
(バレー、バスケット、サッカーボールなど)
- ビーチボールの空気入れ(小さな浮き輪)

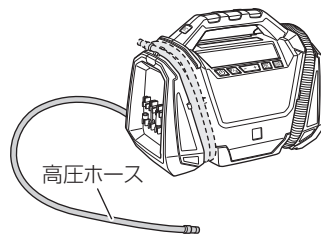
## 警告

- 圧力を設定する際は、対象物の適正圧力、圧力単位を確認し正しく設定してください。
- 空気を入れているときは、本機の圧力表示の値、本機や対象物の状態やエアの漏れがないことを確認してください。
- 機体の圧力計は目安としてください。空気を入れた後は、正規の計測器などで確認してください。
- 連続使用可能時間は5分です。5分間使用した後は10分間使用を止めて、機体を冷ましてください。
- 本製品や対象物に記載されている最大圧力を超えた空気を入れないでください。
- 用途に記載されている以外の物に、空気を入れないでください。
- 使用前にホースやアダプタに損傷がないか確認してください。
- 使用中は、本製品および対象物からはなれないでください。  
また、本製品および対象物に異常が出た場合に、すぐに停止できるように注意深く確認してください。
- タイヤに空気を入れるときは、タイヤの表面や側面(サイドウォール)に傷やヒビ割れがないことを確認してください。  
劣化したタイヤに空気を入れると、破裂する恐れがあります。
- タイヤに空気を入れているときは、タイヤの側面(サイドウォール)側の正面から体を避けてください。



**注** 高圧モードでは空気を抜く機能はありません。

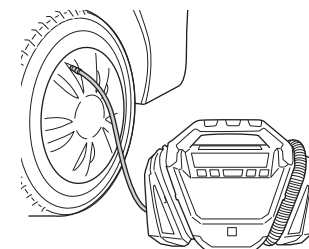
## 1 高圧ホースを本体からほどく



**注** ホースは折れたり、ねじれたりしたまま使用しないでください。

## 2 対象物に合うアダプタをホースに取り付け、対象物に取付ける

P.19「アダプタの使い方」を参照してください。

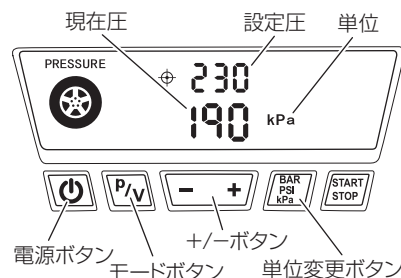


**注**

- アダプタがしっかり取付いていることを確認してください。
- 適切なアダプタを取付けてください。
- 使用しないアダプタは収納してください。

## 3 電源ボタンをONにして高圧モード、空気圧を設定する

P.16「スイッチパネルについて」を参照してください。



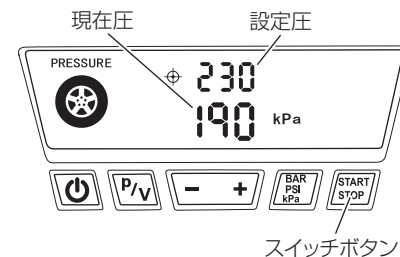
**注** ●圧力の単位を確認し、正しく設定してください。

- 現在圧は、対象物に取付けた時点で表示されます。0から切り替わらない場合、対象物が10kPa以下、または、エア漏れ、本機の故障の可能性があります。

## 4 スイッチボタンを押す

高圧空気が入り、設定圧に達すると自動で運転を停止します。

現在圧表示が作動していることを確認してください。現在圧の表示が変わらない、または下がっている場合は、空気が抜けている可能性があります。



## 5 対象物からアダプタを取りはずし、空気圧を確認する

アダプタを取りはずした後、正規の測定器で適正な空気圧が確認してください。

# アダプタの使い方【高圧モードのみ】

## 警告

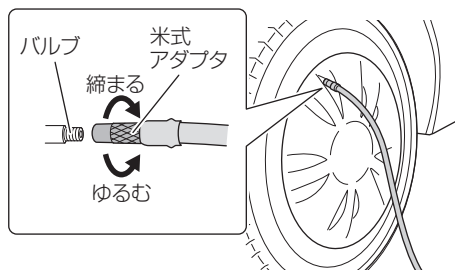
- 各アダプタの取付け・取りはずしの際は、スイッチを切った状態（電源ボタンOFF）で行ってください。
- 使用中は、本製品および対象物からはなれないでください。また、本製品および対象物に異常が出た場合に、すぐに停止できるように注意深く確認してください。
- 圧力の設定は、対象物に合わせて適正に行ってください。
- 空気を入れた後、正規の計測器で空気圧を確かめてください。

**注** 高圧ホース先端にアダプタを取付ける際は、しっかりと接続してください。

## ●乗用車・オートバイ【米式バルブ】

**1** 高圧ホース先端の米式アダプタねじ部をバルブの先端に接続し、締付けます。

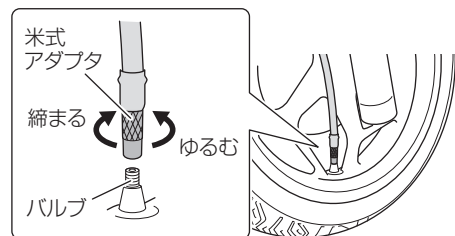
【乗用車】



**2** 本製品の電源ボタンをONにします。

**3** 適正空気圧に設定した後、スイッチボタンを押すと空気が入ります。

【オートバイ】



**4** 対象物の空気圧が設定値になると、運転が停止します。

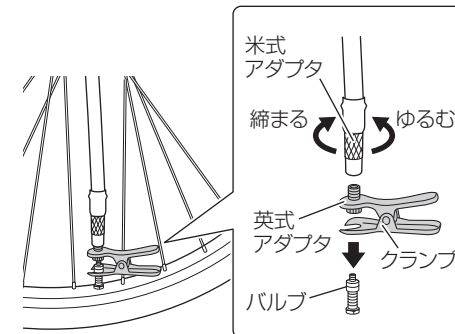
## ●一般的な自転車【英式バルブ】

**1** 高圧ホース先端の米式アダプタに、英式アダプタを取付けます。

**2** 英式アダプタのクランプを開いて、バルブの先端に接続します。

**3** 本製品の電源ボタンをONにします。

**4** 適正空気圧に設定した後、スイッチボタンを押すと空気が入ります。タイヤの状態を確認しながら空気を入れてください。



**注** 英式アダプタを使用するときは、アダプタの特性上、現在圧力表示は正確な数値が表示されません。

## ●スポーツタイプの自転車【仏式バルブ】

**1** バルブ先端のロックナットをゆるめます。

**2** 仏式アダプタをバルブに締付けます。

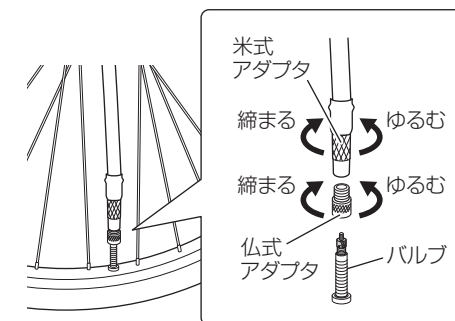
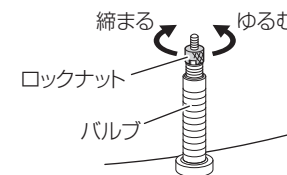
**3** 米式アダプタを仏式アダプタに締付けます。

**4** 本製品の電源ボタンをONにします。

**5** 適正空気圧に設定した後、スイッチボタンを押すと空気が入ります。

**6** 対象物の空気圧が設定値になると、運転が停止します。

**7** 米式アダプタと仏式アダプタを取りはずし、ロックナットを締付けます。



## ●球技ボール

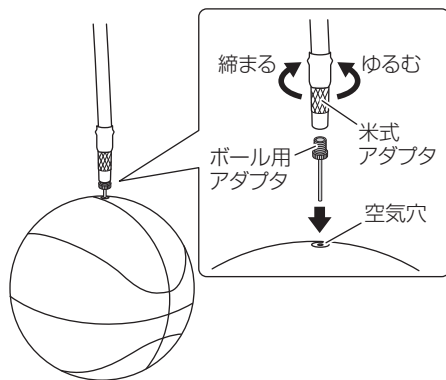
1 高圧ホース先端の米式アダプタに、ボール用アダプタを取付けます。

2 ボール用アダプタをボールの空気穴に、しっかりとさし込みます。

3 本製品の電源ボタンをONにします。

4 適正空気圧に設定した後、スイッチボタンを押すと空気が入ります。

5 ボールの空気圧が設定値になると、運転が停止します。



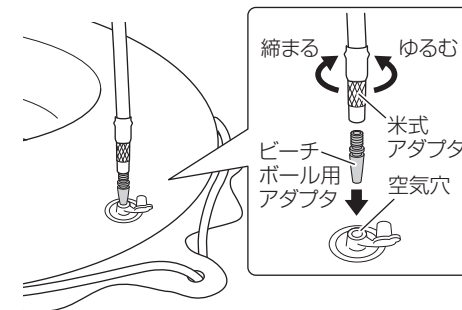
## ●小さな浮き輪・ビーチボール

1 米式アダプタの先に、ビーチボール用アダプタを取付けます。

2 ビーチボール用アダプタを浮き輪またはビーチボールの空気穴に、しっかりとさし込みます。

3 本製品の電源ボタンをONにします。

4 スイッチボタンを押すと空気が入ります。浮き輪またはビーチボールの状態を確認しながら空気を入れてください。



- 注**
- 空気を入れ過ぎないでください。
  - 浮き輪の圧力は本機の最小表示より低い場合、現在圧に正しい数値が表示されません。本体の現在圧を使用せずに、浮き輪の状態を確認しながら空気を入れてください。圧力が高くなりすぎて、破裂する可能性があります。

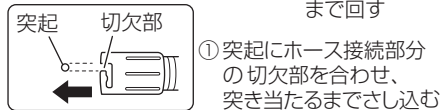
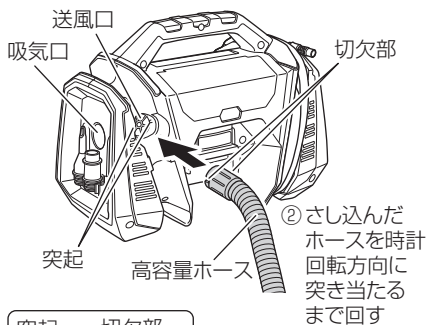
# 大容量モードで空気を入れる・抜く

●レジャー用品の空気入れ/抜き  
(浮き輪、ビーチボール、エアベッドなど)

## ⚠️ 注意

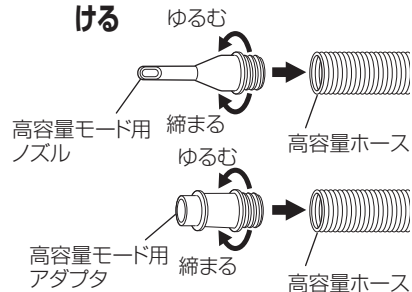
大容量モードは、自動で停止しません。  
また、圧力の設定はできません。

## 1 大容量ホースを本体からほどき、空気を入れる場合は送風口にホースを取付ける



- 注**
- 使用前にホースやノズル、アダプタに損傷がないか確認してください。
  - ホースは、折れたりねじれたりしたまま使用しないでください。

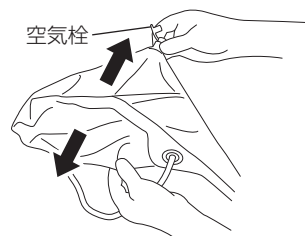
## 2 対象物のサイズに合わせてノズル、またはアダプタをホースの先に取付ける



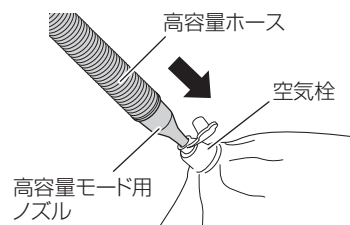
- 注**
- ノズル、またはアダプタがしっかり取付いていることを確認してください。
  - 適切なノズル、またはアダプタを取付けてください。

## 3 対象物に取付ける

- 空気栓側と裏側の生地を両端に引いて、中に空間を作ります。

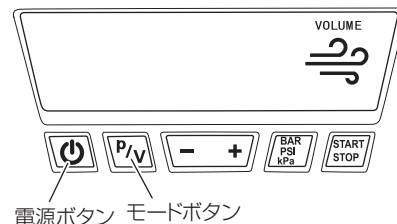


- ノズル、またはアダプタを対象物にさし込みます。



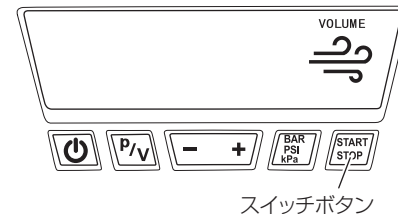
## 4 電源ボタンをONにして大容量モードに設定する

P.16「スイッチパネルについて」を参照してください。



## 5 空気を入れる

スイッチボタンを押して、空気を入れます。

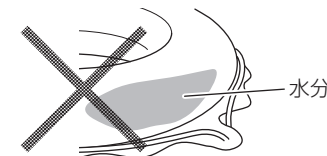


- 注** 空気を入れ過ぎないように、状態を確認しながら行ってください。  
破裂や破損の恐れがあります。

### 空気を抜く場合

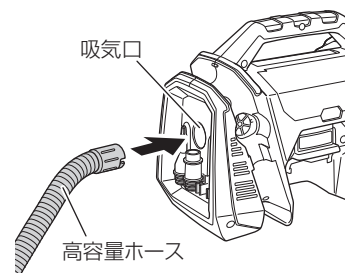
- 注** 本製品の吸引機能は空気抜き専用です。掃除機のように、物を吸い込む用途には使えません。

- 注** 吸い込む恐れのある水分が内部にある場合は、あらかじめ抜いてください。水を吸い込むと、モーターが故障する原因になります。



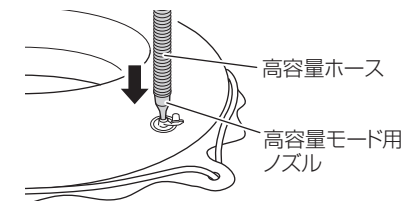
## 6 ホースを付け替える

- 機体の側面にある吸気口を使用します。
- 吸気口にホースを取付け、ホースにノズル、またはアダプタを取付けます。



## 7 空気を抜く

ノズルまたはアダプタの先を対象物にさし込み、スイッチボタンを押して空気を抜いてください。  
(P.16「スイッチパネルについて」参照)



## ホースと標準付属品の収納

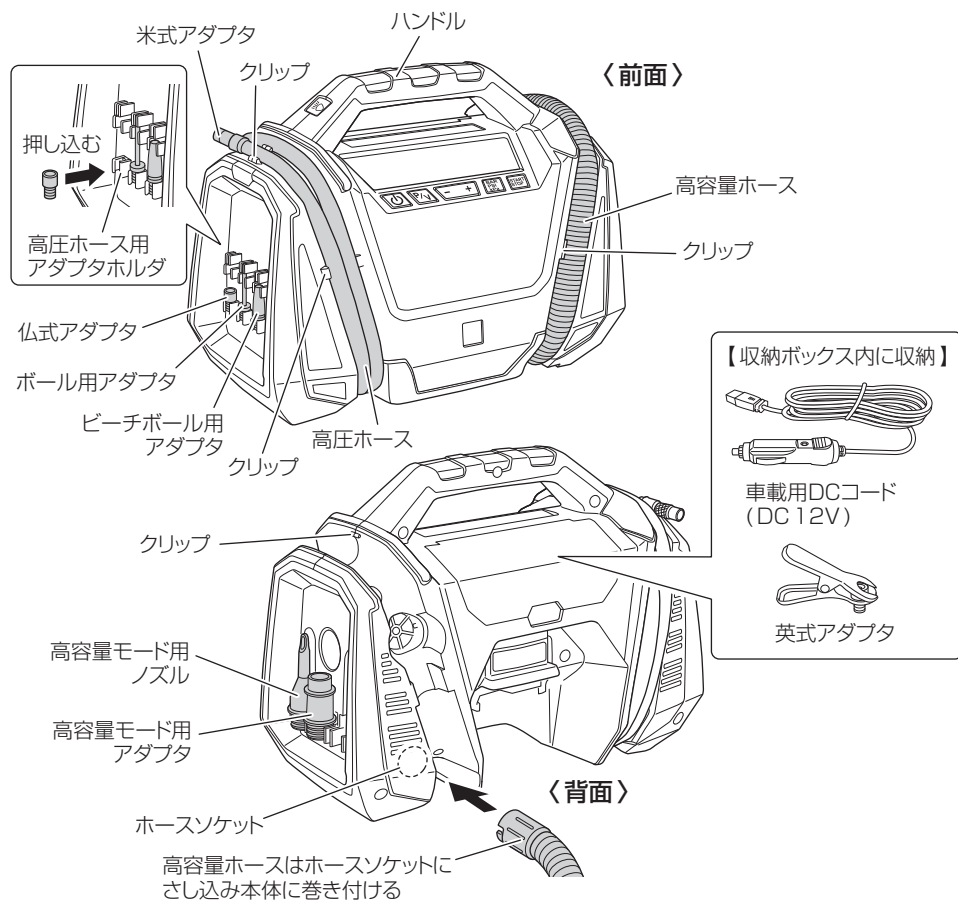
ホースと標準付属品は、下図のように収納することができます。

**注** 使用しないノズル、またはアダプタは収納してください。

### ⚠ 注意

ホースがねじれたまま収納しないでください。

- 高容量ホースは、送風または吸気口からはずしてホースソケットにさし込み、本体に巻き付けてからクリップで止めてください。  
高圧ホースはそのまま巻き付け、クリップで止めてください。
- 車載用DCコードと英式アダプタは収納ボックスへ入れ、そのほかの標準付属品はそれぞれの位置に収納してください。



## 保守・点検

### ⚠ 警告

点検・お手入れの際は電源を切り（電源ボタン OFF）、車載用DCコード、蓄電池を本体から取りはずしてください。

### ● 機体の点検

各部分の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。  
ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。  
異常がある場合は、お買い求めの販売店に相談してください。

### ● 端子部の点検

本体や蓄電池の端子部に切りくず、ほこりがたまっていないか点検してください。  
作業前、作業後のほかに作業中でも時々点検してください。

### ● 清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。  
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

### ● モーターの取扱いについて

モーター（内蔵）（P.10「各部の名称」参照）に、油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

## ● 吸気口の点検

吸気口にごみやほこりが詰まると、風量が少なくなる、風が通常より熱くなるなどが発生します。

使用前、使用後に、吸気口にごみやほこりが詰まっていないか確認してください。

- 注**
- 清掃後は、何も無い方向に向けて送風してください。  
送風口から内部に残ったほこりが排出されます。
  - 吸気口を掃除しても状況が改善しない場合は、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。

## ● 機体や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- お子様の手が届く場所、持ち出せる場所
- 軒先など雨が降りかかる場所、湿気がある場所
- 温度が急変する場所、直射日光が当たる場所
- 引火や爆発の恐れがある揮発性物質が置いてある場所

## ● リチウムイオン電池の輸送について

リチウムイオン電池を輸送する場合、次の点に注意してください。

### ⚠ 警告

輸送会社にリチウムイオン電池を含む荷物であること、および電力量を伝えて、輸送会社の指示に基づいた手続きを行ってください。

- 電力量が100 Whを超えるリチウムイオン電池の場合は、輸送貨物の分類上、危険物扱いとなり、特別な申請等が必要になります。
- 海外へ輸送する場合、国際法令および輸送先国の規制に従う必要があります。

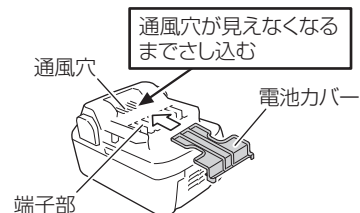


## ● リチウムイオン電池の保管について

### ⚠ 警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡(ショート)して発熱・発煙・発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を守ってください。

- 収納ケースに導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。
- 短絡(ショート)するのを防ぐため、蓄電池は工具本体にさし込むか、電池カバーを取付けて保管してください。



- 注** リチウムイオン電池を保管するときは、半分程度の容量で保管してください。
- 蓄電池の残量が少ない状態で長期間(3か月以上)保管すると蓄電池が劣化し、使用時間が著しく短くなる、または充電できなくなる恐れがあります。
- 充電と使用を繰り返しても使用時間が極端に短い場合は、蓄電池の寿命とご判断いただき、新しい蓄電池をお買い求めください。

メ モ

メ モ